

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公開番号】特開2010-176845(P2010-176845A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2010-107433(P2010-107433)

【国際特許分類】

G 11 B 7/135 (2006.01)

G 02 B 13/00 (2006.01)

G 02 B 13/18 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/135 A

G 02 B 13/00

G 02 B 13/18

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月27日(2011.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ光源からの光束が入射する連続形状の第1の面と、

前記第1の面と反対側の光ディスク基板及び光ディスク内光透過層からなる光ディスクに對向する側の第2の面とを備え、

専ら波長が410nm以下の前記レーザ光源からの光束を、

前記光ディスクに集光する開口数NAが0.84以上で、

前記レーザ光源からの平行光束に対しては、前記光ディスク内光透過層の表面から0.0875mmの面間隔の位置に集光する単レンズであつて、

有効径Dが2.0 D 2.1mmであつて、

前記第1の面の曲率半径r1が0.7512375 r1 0.8427213mmであり、

前記第2の面は、光軸からレンズ外径に向かって、半径h1、半径h2、半径h3(h1 < h2 < h3)とした場合、

半径h1、半径h2、半径h3での各サグ量をsag1、sag2、sag3とし、各サグの変化量をsag1、sag2、sag3としたときに、

sag1 > sag2、及び sag2 < sag3を満足するh1、h2、h3が存在する面形状であり、

波長405nmでの屈折率nが1.51 n 1.64である

ことを特徴とする光ピックアップレンズ。